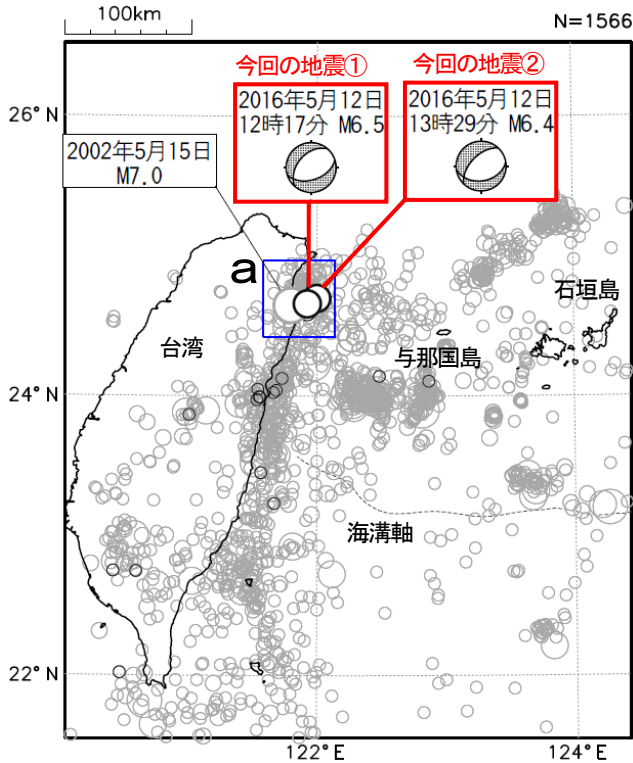


5月12日 台湾付近の地震

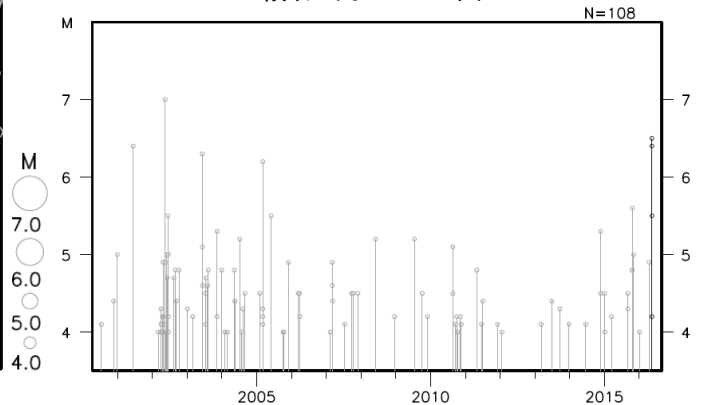
震央分布図
(2000年7月1日~2016年5月31日、
深さ0~100km、 $M \geq 4.0$)
2016年5月以降の地震を濃く表示
図中の発震機構はCMT解



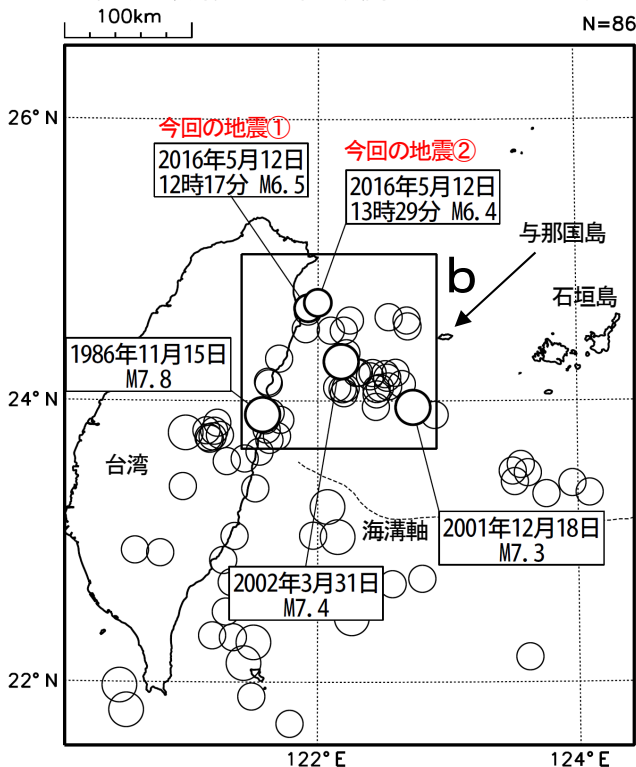
2016年5月12日12時17分に台湾付近（与那国島の西北西約110km）でM6.5の地震①（沖縄県内で最大震度2）が発生した。同地震の震央付近では同日13時29分にM6.4の地震②（最大震度3）が発生した。いずれの地震も発震機構（CMT解）は、北北西-南南東方向に張力軸を持つ正断層型であった。これらの地震により気象庁は津波予報（若干の海面変動）を発表した。

2000年7月以降の活動をみると、この地震の震央付近（領域a）では、2002年5月15日にM7.0の地震（最大震度3）が発生するなど、M5.0以上の地震が時々発生している。

領域a内のM-T図

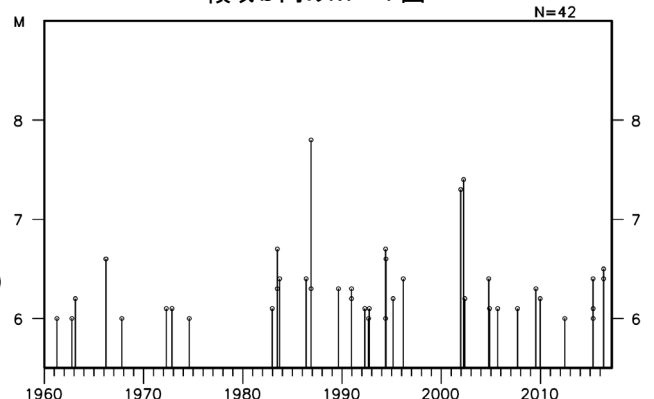


震央分布図
(1960年1月1日~2016年5月31日、
深さ0~100km、 $M \geq 6.0$)
今回の地震①、②の震源要素は気象庁による。
その他の震源要素は米国地質調査所（USGS）による。



1960年1月以降の活動をみると、今回の地震①、②の震央周辺（領域b）では、1986年11月15日にM7.8の地震（最大震度3）が発生し、宮古島平良で30cmの津波を観測し、台湾では死者13人、負傷者45人の被害が生じた（被害は、「宇津の世界被害地震の表」による）。また、2001年12月18日にM7.3の地震（最大震度4）及び2002年3月31日にM7.4の地震（最大震度3）が発生し、共に与那国島久部良で12cmの津波を観測した。

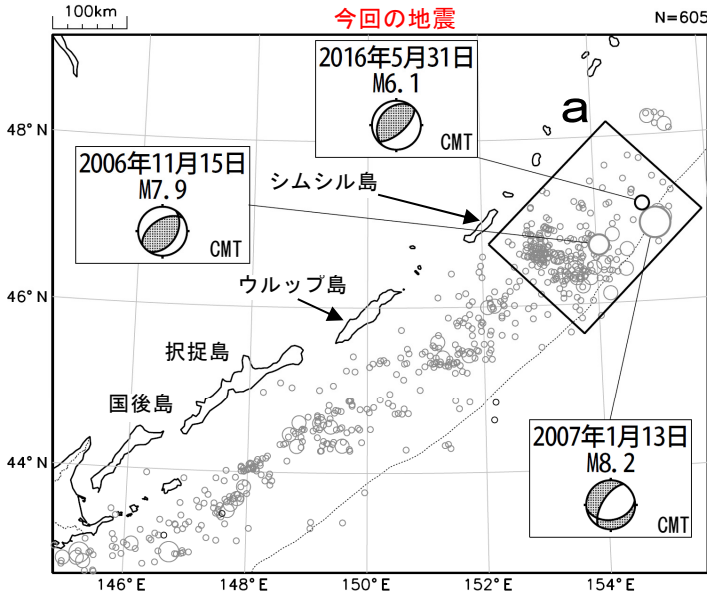
領域b内のM-T図



5月31日 北西太平洋（シムシル島東方沖）の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2016年5月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)
2016年5月の地震を濃く表示

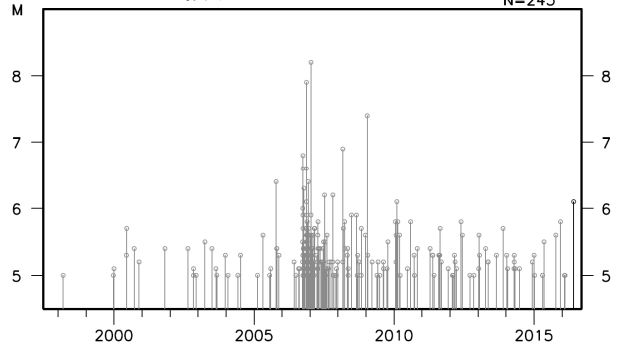


2016年5月31日19時03分に北西太平洋（シムシル島東方沖）でM6.1の地震が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域a）では、2006年11月15日にM7.9の地震（最大震度2）が発生し、三宅島坪田で84cmの津波を観測するなど、北海道から沖縄県にかけて津波を観測した。また、2007年1月13日にはM8.2の地震（最大震度3）が発生し、三宅島坪田で43cmの津波を観測するなど、北海道から九州地方にかけて津波を観測した。

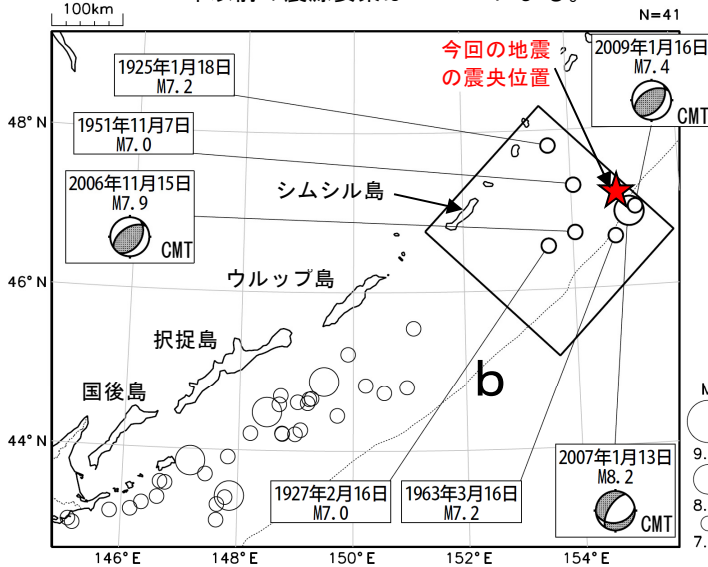
1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M7.0以上の地震が7回発生しており、最大は2007年1月13日に発生したM8.2の地震（最大震度3）であった。

領域a内のM-T図



震央分布図

(1923年1月1日～2016年5月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 7.0$)
2005年以前の震源要素はISCJEMによる。



領域b内のM-T図

